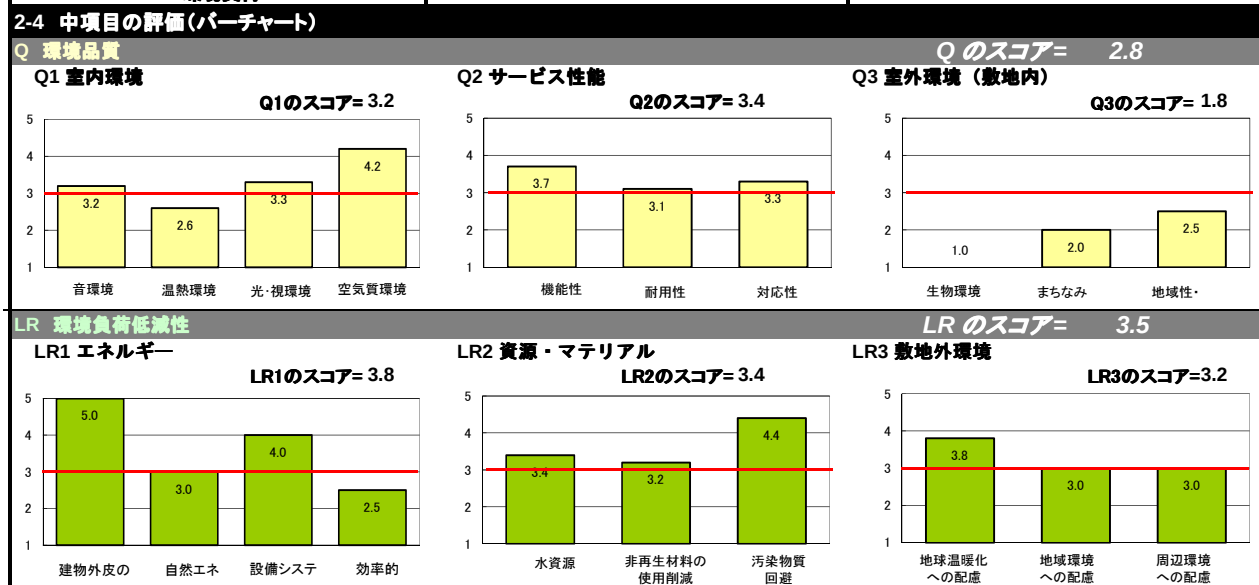
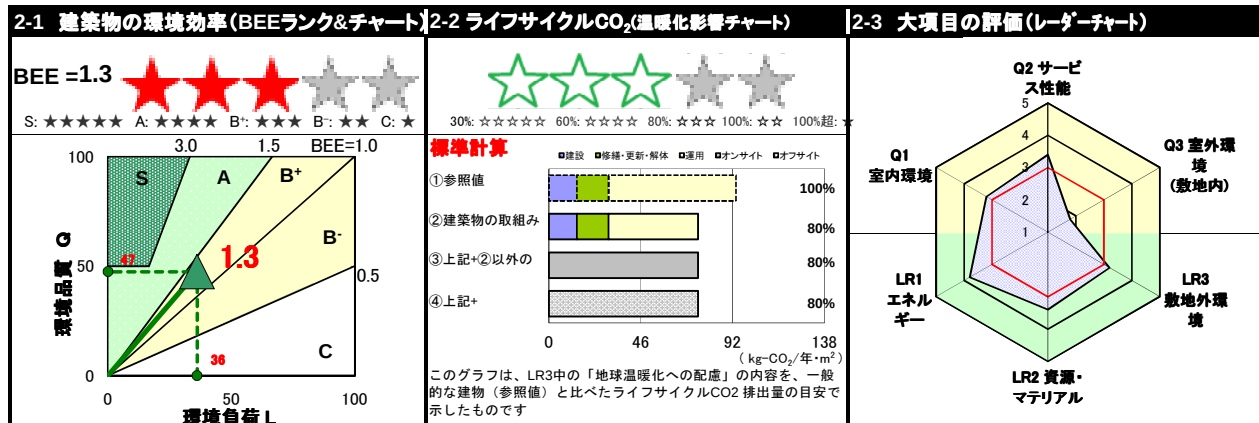


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Yamato platform プロジェクト	階数	地上4階建
建設地	兵庫県姫路市大津区吉美字地浜37	構造	S造
用途地域	工業専用地域、工業地域、法22条地	平均居住人員	207 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2023年3月13日
敷地面積	227,985 m ²	作成者	小野設計 田中
建築面積	4,729 m ²	確認日	2023年3月13日
延床面積	9,138 m ²	確認者	小野設計 野崎



3 設計上の配慮事項	
総合	建物利用者が長期にわたり利用できるような計画とし、室内環境に配慮した計画とした。
Q1 室内環境	窓にはブラインドや庇を設置することで、室内環境に配慮した。内装仕上げはF☆☆☆☆を使用した。
Q2 サービス性能	建物が長期的に利用できるよう、維持管理や改修のしやすい計画とした。執務エリアの天井高を3.5mとすることで圧迫感のない執務空間となるようにした。
Q3 室外環境(敷地内)	工場敷地であるが、事務所周辺に緑地を設けることで室外環境に配慮した。
LR1 エネルギー	外壁・屋根に断熱材を計画し、熱負荷を抑制するよう計画した。
LR2 資源・マテリアル	節水型便器や自動水栓を採用することで節水に努めた。
LR3 敷地外環境	敷地内への導入路の幅を十分に確保することで、周辺道路の交通負荷へ配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される